

今月のお知らせ

社会教育センター図書室
☎28・5449

おはなし会

町内2つのボランティアグループによる楽しいおはなし会を開催します。

1/9 **おひさまのおはなし会**

読書クラブおひさまの皆さんによる紙人形劇や手遊びを行います。

とき 1月9日(木)

ところ 午前10時30分
総合福祉センター

対象 南館ひまわり
乳幼児

1/18 **ゆめっ子のおはなし会**

とき 1月18日(土)

午後1時30分
社会教育センター

対象 幼児遊戯室
小学校低学年、幼児

休館

資料整理のため、1月31日(金)は、図書室をお休みします。

2月1日(土)からは平常どおり利用できます。

新刊



ししにやいとおしょうかつ

児童書
澤野 秋文 作
(3)歳から(5)歳向け
(世界文化社)

お正月に突然やってきた、謎の生き物「ししにやい」。ぼくと家族は一緒におせちを食べたり、お正月あそびをするが…。お正月の物語を楽しみつつ、福笑い、迷路、探し絵などであそべる絵本。『おはなしワンダー』掲載書籍化。



一般書
しめ飾り造形とその技法

鈴木 安郎・安藤 健浩 著
(誠文堂新光社)

しめ飾りとは、日本の稲作文化と深く結びついた「春を迎えるかたち」。稲を育て、藁をつくり、縄を編む。しめ飾りをつくるプロジェクト「ことほぎ」の2人が、しめ飾りの歴史や制作技法などを紹介する。

豊山俳句クラブ

青山克己 選

一輪の睡蓮残すモノの池

山下敬太

真つ青な未来を描く秋の空

黒澤裕子

竹林を青く揺すりて秋深む

田村多喜子

モノの池秋空の青写しをり

坪井昭子

山門の石のきざはし秋しぐれ

東海林宗義

円空の声なき声や秋深し

杉浦みどり

円空の即身成仏美濃の秋

水野眞弓

独房の高き小窓や星月夜

石黒貴代子

鰻屋ののれんを秋へくぐり抜け

青山とも子

川辺りにさわさわ光るすすきかな

谷崎 琴

鰻屋に古き算盤秋しぐれ

岡島 齋

立冬に思ひもかけぬ青き空

高木須磨子

行く秋の風に軋みし古刹かな

坪井径子

いつしゅんに山を動かすすすき風

青山克己

豊山歌壇

水野笑子 選

真夜中に目覚めれば啼く虫の音に秋のび来るをしみじみ感ず

柴田満枝

屋の蝶羽を揺らして翔び立ちぬ猛暑の陽を受け樹の陰渡る

渡辺トヨ子

遮断機の閉ぢて湧き立つ草いきれ口ーカル電車ゆるりと通る

中澤芳子

わが家にもブラックホールのある如く探し物する秋のいち日

山田 米

年重ね家族に寄り添ふ日々送る可も不可もなく暮らしの足らふ

小出寿枝

あの時にあの三言を告げられず八十路の坂越え見る夢のあり

荒川昌枝

数多なる夏草繁れる堤防に秋の虫らのハーモニを聞く

九月尽となりても陽射しは夏のごと日除けのゴーヤ未だ外せず

御嶽の噴火の悲しみ未だ消えず五年の月日古きと云はず

酷暑耐へし身には秋とふびき良し

集く虫の音に癒やさる今宵

一柳千鶴子

高校生に戻りゆく気の思ひして原稿の文字は丁寧を書く

水野笑子

編集後記

新年あけましておめでとうございませう。▼本町は、アメリカ力のワシントン州グラント郡と姉妹提携を締結した。きっかけは、本町に最終組立工場のある国産初のジェット旅客機スパーズジェットが、グラント郡の地で飛行試験を行っていることである。空でつながった縁であるといえる。イチロー選手の活躍したシアトルも近い▼国際交流員のシリアは、同州出身である。両国は遠く離れているものの、活気あふれる賑やかな街並みや、人と人との温かなつながりがあることなどは本町と共通していると言おう。ことしの夏以降、互いに中学生数人ずつが訪問し、交流を始める▼町内で外国人を見かける機会も増えている。人種や国籍の違いが壁にならず、普通に交流できるまちになることで、お互いに気持ちよく生活することができると。さまざまなが人が共存できることは、今後のまちの発展のために重要であるといわれている▼4月からは、第5次総合計画がスタートする。まちの将来像は「一人ひとりが輝く 暮らし豊かな アーバンビレッジ」である。まちが輝くためには、住民一人ひとりの幸せな暮らしを実現することが重要だ。心を新たに、取り組んでまいりたい。本年もどうぞよろしくお願いたします。